



2026年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年8月1日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東
コード番号 2612 URL <https://www.kadoya.com>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）北川 淳一
問合せ先責任者 （役職名）執行役員コーポレート本部長 （氏名）高野 純平 TEL 03-6721-6957
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第1四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％
2026年3月期第1四半期	10,566	10.0	1,267	13.9	1,239	△1.5	834	△1.6
2025年3月期第1四半期	9,600	10.3	1,112	19.8	1,259	24.0	849	26.8

（注）包括利益 2026年3月期第1四半期 895百万円（△1.5％） 2025年3月期第1四半期 909百万円（15.8％）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期第1四半期	90.70	—
2025年3月期第1四半期	92.26	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	％
2026年3月期第1四半期	43,274	35,239	81.4
2025年3月期	43,536	35,265	81.0

（参考）自己資本 2026年3月期第1四半期 35,239百万円 2025年3月期 35,265百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	100.00	100.00
2026年3月期	—				
2026年3月期（予想）		0.00	—	95.00	95.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	％	百万円	％	百万円	％	百万円	％	円 銭
第2四半期（累計）	20,500	4.2	1,900	△5.4	2,000	△3.1	1,350	△3.7	146.69
通期	40,000	1.3	3,100	△2.1	3,200	△5.7	2,150	△8.7	233.61

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期1Q	9,400,000株	2025年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期1Q	196,734株	2025年3月期	196,734株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期1Q	9,203,266株	2025年3月期1Q	9,203,266株

(注) 当社は「株式給付信託（ＢＢＴ）」を導入しており、期末自己株式数には、信託に残存する自社の株式（2026年3月期第1四半期 11,253株、2025年3月期 11,253株、2025年3月期第1四半期 11,253株）を含めております。また、期中平均株式数は当該信託が保有する株式を考慮して計算・記載しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料P.3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法について）

決算補足説明資料は、T D n e t で本日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは中期経営計画の達成に向けて、パーパス（ごまの価値を極限まで高めることで世界に貢献する）・ビジョン（「ごま」を通じて社会課題の解決に取り組み、社員と会社の両方が持続的に成長する）・バリュー（ごまのパイオニア／まずは、お客様第一主義／誠実、公平、偽りなく行動／差別なく、異なる考え方、文化、社会に敬意／自ら挑む、常に変化を生む）を2025年4月に策定し、当社グループのファンを基盤として中長期的に企業価値を向上させていく、「ファンベース経営」の実践に取り組んでいます。

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善により景気が緩やかな回復基調にある一方、依然として物価高の影響が継続しており、生活必需品をはじめとする価格上昇が個人消費の抑制要因となっております。世界経済においては、米国の関税政策や各国中央銀行の金融政策の動向が注視される中、地政学的リスクも継続しており、先行きが不透明な状況が続いております。

食品業界におきましては、原材料価格の高止まりや人件費・物流費の上昇を背景に値上げ傾向が続いており、消費者の節約志向は依然として続いております。一方で、外食産業は、インバウンド需要が堅調さを維持していること等により、好調に推移しました。

このような状況下において、当社グループは、厳格な生産体制の維持・管理を行いながら、効率化によるコスト削減により、収益性の確保に取り組みました。

この結果、当第1四半期連結累計期間のごま油事業全体の販売数量は前年同期比10.8%増、販売金額は前年同期比11.7%増、食品ごま事業全体の販売数量は前年同期比2.3%増、販売金額は前年同期比4.7%増となりました。

売上原価は、原材料価格の上昇が一服したものの、労務費や運賃等の各種コストの増加及び販売数量の増加等により、前年同期比11.7%増となりました。販売費及び一般管理費は、マーケティングの戦略的展開に向けた体制整備と準備段階にあったため、広告宣伝費の減少があったものの、研究開発体制の強化による研究開発費の増加、及び運賃の増加等により、前年同期比0.4%増となりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高10,566百万円（前年同期比966百万円増）、経常利益1,239百万円（前年同期比19百万円減）、親会社株主に帰属する四半期純利益834百万円（前年同期比14百万円減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用は、「純正ごま油濃口」の認知度向上を目的としたキャンペーンを実施しました。また、販売シェア拡大及び「かどやファン」の増加を目的として、前期3月にテレビCMを実施した影響に加え、積極的な販促活動を行ったことにより、販売数量は前年同期に比べ増加しました。

業務用は、インバウンド需要等による外食産業の好調に加え、加工ユーザー向けの販売も好調であったため、販売数量は前年同期に比べ増加しました。

また、輸出用は、物価の高止まりによる節約志向が懸念されたものの、北米における加工ユーザー向けに販売が好調であったことに加え、米国の関税政策の不透明感による駆け込み需要等により、販売数量は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、売上高は8,341百万円（前年同期比880百万円増）となり、研究開発費や運賃等の増加があったものの、セグメント利益は1,143百万円（前年同期比227百万円増）となりました。

②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、加工ユーザー向けに販売が好調であったこと等により、販売数量及び販売金額は前年同期に比べ増加しました。

以上の結果、売上高は2,218百万円（前年同期比100百万円増）となりましたが、原料コストが高水準で推移した影響による原料代の増加等により、セグメント利益は120百万円（前年同期比64百万円減）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ262百万円減少しました。これは現金及び預金が566百万円増加するなどの増加要因があったものの、受取手形及び売掛金が213百万円、商品及び製品が173百万円、有形固定資産が161百万円、投資その他の資産が159百万円減少したこと等によるものであります。

負債につきましては、前連結会計年度末に比べ237百万円減少しました。これは支払手形及び買掛金が705百万円増加するなどの増加要因があったものの、賞与引当金が452百万円、未払法人税等が351百万円、未払金が183百万円減少したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ25百万円減少しました。これは繰延ヘッジ損益が37百万円、その他有価証券評価差額金が23百万円増加するなどの増加要因があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益834百万円の計上と配当金の支払い921百万円の加減算により利益剰余金が86百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年5月12日に公表しました業績予想から修正は行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2025年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,881	8,447
受取手形及び売掛金	8,983	8,769
商品及び製品	2,505	2,332
仕掛品	1,723	1,630
原材料及び貯蔵品	8,677	8,817
その他	597	440
流動資産合計	30,369	30,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物 (純額)	4,655	4,584
機械装置及び運搬具 (純額)	2,145	2,027
その他	3,433	3,461
有形固定資産合計	10,234	10,073
無形固定資産	73	62
投資その他の資産	2,859	2,700
固定資産合計	13,167	12,836
資産合計	43,536	43,274
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,832	3,538
未払法人税等	600	248
賞与引当金	638	186
役員賞与引当金	139	31
役員株式給付引当金	—	6
その他	1,808	1,769
流動負債合計	6,018	5,781
固定負債		
退職給付に係る負債	1,792	1,789
役員株式給付引当金	37	33
株式給付引当金	7	7
資産除去債務	233	233
その他	181	188
固定負債合計	2,252	2,252
負債合計	8,271	8,034
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,067	3,067
利益剰余金	30,400	30,313
自己株式	△1,359	△1,359
株主資本合計	34,268	34,181
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,002	1,026
繰延ヘッジ損益	△31	5
退職給付に係る調整累計額	26	26
その他の包括利益累計額合計	997	1,058
純資産合計	35,265	35,239
負債純資産合計	43,536	43,274

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
売上高	9,600	10,566
売上原価	6,845	7,648
売上総利益	2,755	2,918
販売費及び一般管理費	1,643	1,650
営業利益	1,112	1,267
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	25	24
為替差益	95	—
雑収入	26	3
営業外収益合計	148	28
営業外費用		
支払利息	0	0
支払手数料	1	0
為替差損	—	55
雑損失	0	0
営業外費用合計	1	56
経常利益	1,259	1,239
特別損失		
固定資産除売却損	5	—
特別損失合計	5	—
税金等調整前四半期純利益	1,253	1,239
法人税、住民税及び事業税	254	222
法人税等調整額	150	182
法人税等合計	404	404
四半期純利益	849	834
親会社株主に帰属する四半期純利益	849	834

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
四半期純利益	849	834
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△50	23
繰延ヘッジ損益	110	37
退職給付に係る調整額	0	△0
その他の包括利益合計	60	61
四半期包括利益	909	895
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	909	895
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,253	1,239
減価償却費	286	271
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△430	△452
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△104	△107
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	15	△3
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	1	2
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	0	0
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	—
受取利息及び受取配当金	△25	△24
支払利息	0	0
支払手数料	1	0
有形固定資産除売却損益 (△は益)	5	—
雑収入	△9	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△591	213
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△459	126
その他の資産の増減額 (△は増加)	△114	128
仕入債務の増減額 (△は減少)	△94	704
その他の負債の増減額 (△は減少)	△76	△101
小計	△341	1,998
利息及び配当金の受取額	25	24
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△484	△545
営業活動によるキャッシュ・フロー	△800	1,477
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△3	△3
有形固定資産の取得による支出	△69	△110
無形固定資産の取得による支出	△0	—
有形固定資産の除却による支出	△0	△1
貸付金の回収による収入	0	0
保険積立金の積立による支出	△0	△0
保険積立金の解約による収入	26	—
その他	△4	△6
投資活動によるキャッシュ・フロー	△52	△121
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△0	△0
配当金の支払額	△786	△788
財務活動によるキャッシュ・フロー	△787	△789
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,640	566
現金及び現金同等物の期首残高	8,681	7,881
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,040	8,447

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	7,461	2,117	9,579	21	9,600
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	7,461	2,117	9,579	21	9,600
計	7,461	2,117	9,579	21	9,600
セグメント利益	916	184	1,101	11	1,112

(注)「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,101
「その他」の区分の利益	11
四半期連結損益計算書の営業利益	1,112

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合 計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	8,341	2,218	10,560	6	10,566
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	8,341	2,218	10,560	6	10,566
計	8,341	2,218	10,560	6	10,566
セグメント利益	1,143	120	1,264	3	1,267

(注)「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,264
「その他」の区分の利益	3
四半期連結損益計算書の営業利益	1,267

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。